

## 技能グランプリ「家具」職種Q&A

| NO. | 質問内容   | 回答内容  |
|-----|--|---|
| Q1  | 競技課題2.仕様（8）の仕様によると引き出し前板と側板は包み蟻5枚組接ぎとなっておりますが、図面では7枚となっております。どちらになりますでしょうか。        | 仕様書にある、5枚蟻組接ぎを優先してください。                     |
| Q2  | 支給部材の貫の寸法だと長さが足りないのではないのでしょうか。   | 支給材料「貫」の長さを275mmから340mmに変更します。              |
| Q3  | 持参工具の12、追い入れ等ののみは各々とあるが、それぞれの種類ののみにおいて同じ幅ののみはそれぞれ2本まで、持ち込める解釈で良いですか。               | その通りです。                                     |
| Q4  | 支給材の角脚について、巾と厚み45.5（30.5）長さ340mmで脚上の部分が、上部から下部までそがれた状態かまたは上部60mmを残して足先までそがれた状態なのか。 | 当日支給された材料で作業してください。                         |
| Q5  | 本体、引出しの手加工部分において、蟻の加工に蟻定規（持参工具24）を引当定規として使用して加工してもよいのでしょうか。                        | 構いません。                                      |
| Q6  | 本体、引出しのストッパー穴の加工は、電動ルなどによる荒取りは可能でしょうか。   | 競技課題仕様（16）に準じてください。電動ルなどによる荒取りは不可です。手で掘ること。 |
| Q7  | 仕様（12）角脚と幕板の仕口は小根付き二方胴付きホゾ組みとあるが、図面は小根付き三方胴付きになっています。どちらになりますでしょうか。                | 図面では三方胴付きで描いていますが、のみ隠しとお考え下さい。              |
| Q8  | 仕様（15）検査後の加工は認めない。とあるが、扉の接着後で、丁番の加工や押さえ縁の加工をすることも該当しますか。                           | 該当します。接着組み立てをする前に丁番堀、押さえ縁の加工をして、委員に見せること。   |
| Q9  | 持参工具のさしがね、直角定規は指定された寸法より短くても構わないのでしょうか。  | 構いません。                                      |